

## 研究名

腎不全患者における ST 合剤の用法用量違いによる有効性と安全性の検討

### 1. 研究の対象

2020 年 4 月から 2023 年 3 月までの 3 年間で当院入院患者において ST 合剤を投与した腎不全患者

### 2. 研究目的・方法

間質性肺炎やネフローゼ症候群などステロイド治療が用いられる疾患では、全身性免疫低下により治療中の合併症としてニューモシスチス肺炎（以下、PCP）のリスクが高い。治療の障害となるためスルファメトキサゾール・トリメトプリム（以下、ST 合剤）の予防投与が推奨されている。腎不全患者においては、その投与量が腎機能正常患者の半量と具体的な投与方法が定まっていない。そこで、済生会横浜市南部病院（以下、当院）における ST 合剤用法別の PCP の発生率、副作用発現率を後方視的に調査する。

### 3. 研究に用いる情報の種類

観察研究

### 4. 外部への情報の提供

研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報は個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。

### 5. 研究組織

研究機関名：済生会横浜市南部病院

研究責任者：薬剤部 田辺 真里

### 6. お問い合わせ

本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問い合わせください。

病院代表：045-832-1111

担当者：薬剤部 田辺 真里